

いなつつみやま
コース 40 稲包山

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成28年10月16日(日) 天候 快晴

参加者 9人 (男性 1 女性 8) グレード C上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:25	9人乗りジャンボタクシーで出発
三国スキー場	8:20	8:30	苗場スキー場から南へ入る
湯ノ沢の渡渉		9:10	湯ノ沢沿いの平坦道から約40分、ここから急登暖登
三坂峠	9:55	10:00	急に展望の三坂峠へ飛び出す。展望は未だ序の口
西稲包山(小稲包山)		10:50	途中岩と木の根のピークを超え登り返す
縦走路分岐		11:10	更に登り返すとR17の三国峠への縦走路分岐
稲包山	11:15	12:20	そこから一投足で山頂、既に大勢の先客で賑わい
三坂峠	13:35	13:40	帰路分岐から縦走路少し入って眺望を確かめる
三国スキー場	15:05	15:20	湯ノ沢にそそり立つチョウチン岩に迎えられる
秋葉区役所前	18:20		予定より30分早く全員安着した

山行等概要(幹事のコメント)

- “稲包山”、あまり聞いたことのないこの山は、谷川連峰の南奥にあって、ひっそりと佇んでいる孤峰である。
- 登山路には、群馬県の法師温泉ないしは四方温泉、つまり南側からのコース。上越県境の三国峠の、つまり東側からのコース。そして今回、北側から、湯沢の三国スキー場から入るコースの3コースがある。前者の2コースは距離が長くて大変。そ



稲包山 1597.7m 画面左手後方は苗場山、
右手後方は谷川連峰が連なっている

- それでも昨年の下見では今回の登路から、R17の三国峠へ抜ける縦走路を歩いたが、アップダウンの大きさと距離の長さで会山行では若干難しいと考え、一番距離の短い三国スキー場からの往復とした。
- お目当ては文字通り360°の大展望と山頂を真紅に取り巻くドウダンツツジの紅葉だ。この日は雲一つない快晴の中、前者の大展望の方は見えるべき山々が全部見えるという僥倖に恵まれた。
- 北は平標から双耳峰の谷川までの連峰の全て、西は苗場からめったに見られない200名山の佐武流や白砂、八間山、南は一段と高い浅間や榛名、小野子、子持など、東に武尊、赤城、更に遠くに日光白根、男体(と思われる)皇海などなどある。
- 一方もう一つのお目当て、山頂周辺の紅葉の方は今ひとつぱっとせず、これは残念。しかし、この日は私らの他にやはり10人前後のグループが3~4組登り合わせ、山頂のそう広くはないやせ尾根は満杯の盛況だった。
- コースタイムに多少余裕はみていたものの、参加者の健脚に支えられ、帰路「道の駅」他少々ゆるりとしながらも予定より早く帰ることができた。

「稲包山」登山に参加して

(1302) J/N

稲包山、あまり聞いたことのない山。どこにあるのかなあーと。湯沢町、群馬県水上町および中之条町の境に。ただし山頂は群馬県側にある山だった。

連日の秋晴れ続き。5時30分出発、少人数なのでジャンボタクシーで、和やかな雰囲気を出発。湯沢の道の駅「みつまた」で靴の履き替え。一路三国スキー場登山口へ、8時過ぎに到着。身支度を整えいざ出発。立派な標識には「稲包山まで4時間」。えっ、こんなにかかるの!!と。じゃあ山頂に着くのは、12時30分頃ねと口々に言いながら歩き始める。

雑木林の中の登山道、溜まり水や流れ水でビショビショになるのかなあと思いつつ、でも大丈夫!!湯ノ沢の渡渉、全員軽々と飛び石で。降雨時は増水で危険だそう。この先は、アップダウン3~4回繰り返す。緊張しながら急登をロープを使って通過。三坂峠から西稲包山、稲包山にかけての稜線からの眺望がよく、二百名山の佐武流山（平地からは望めない山だそうです。）および白砂山を眺めることができた。（佐武流山へはいろいろなルートがあるが、いずれも困難なルートとのこと。十数年前、リーダー夫妻は短絡コースで登頂なさったそうです。）周りの紅葉を仰ぎながら西稲包山、稲包山山頂に向かって急登。他のパーティの行列の姿がはっきり見えた。そこを登り切らないと、前進のみ。

しかし、いつの間にか山頂。バンザイ。到着は11時10前後。予定時間より早い。皆様の健脚ぶりすごいですね。いくつかのパーティが所狭しと。山頂は大パノラマ、リーダーの説明で苗場山、三国山、平標山、仙ノ倉山、谷川連峰、吾妻耶山、大峰山等々。そのパノラマを眺望しながらの昼食。大満足!!いつまでもここにとどまっていたい気持ち。

12時半頃下山。縦走路分岐より眺望のよいところまで足を運ぶ。去年のこの時期にリーダー夫妻が入山、ドウダンツツジの紅葉が素晴らしかった!!という。今年は日照時間不足と天候の不順でいまいちとか。でもそれなりに紅葉が美しかった。緊張しながらの下山、湯ノ沢の渡渉を渡り終え、三国スキー場広場に2時50分着。予定よりかなり早い。最高の天気にも恵まれ、皆様との出会い、素晴らしい山行だった。

リーダー始め参加者の皆様に感謝、感謝、ありがとうございました。



湯ノ沢の渡渉点、飛び石伝い3~4歩で渡れるが増水時は危険の印象。ここから40分で下山口、ホッと息入れる



山頂直下、ドウダンツツジ越しに三坂峠からのトレイル、更に遙か後方に、左から白砂山、佐武流山（2座共200名山）、右寄り苗場山



下山口、三国スキー場の広場で勢揃い。左方後方に湯ノ沢がそそり立つチョウチン岩。我々を見送り、かつ出向いてくれた。